

平成31年度アーツアカデミー受講生 募集要項

31 歴文ア企第256号
令和元年7月24日
アーツカウンシル東京

アーツカウンシル東京では、次代の芸術文化の担い手を発掘、育成することを目的とした「アーツアカデミー事業」を実施する。

芸術創造活動の課題解決及び目標達成への道筋に必要なスキルや思考力を多面的に磨く座学講座、及び各受講生の活動に根差した課題解決戦略レポートの作成と発表を主なプログラム内容とする。これらを通して社会における芸術文化の役割について深い知見と広い視野をもって考え、実践していく人材の育成を目指す。同時に芸術文化支援の調査研究活動に資する内容とする。

については、「アーツアカデミー受講生」を以下により募集する。

1 募集人数・対象

- (1) 16名から20名程度
- (2) 芸術文化領域において3年以上の活動経験のある制作者、研究者、セルフマネージメントのアーティスト・表現者、及び芸術団体・アートNPOのコーディネーター、アートマネージャー、芸術文化支援団体のプログラムオフィサー等。(分野は問わない)

2 事業内容

当事業アドバイザー及びファシリテーターとして若林朋子氏、小川智紀氏を迎え、以下の2つの柱で構成する。

- (1) 座学講座：全7回（下記参照）
- (2) 課題解決戦略レポートの作成と提出及び発表：1回（最終回）
座学講座を通して得た知見をふまえて、受講生自らの活動の課題解決に資する戦略レポートを作成し提出、最終発表会にて発表する。
※ レポート等の成果物について、アーツカウンシル東京が必要と認めるものは再編集を施してウェブサイト等で一般に公開する場合がある。

日時	テーマ	内容・ねらい	講師予定 (敬称略)
2019年 9月17日(火) 16時~20時①	ヴィジョン、ミッションを磨く&課題・目標の設定 ～受講生による課題・目標の提起、共有機会の設定～	・活動、組織のヴィジョン、ミッションの棚おろしレクチャー&ワークショップ（芸術文化創造活動を行う上での「戦略のフレームワーク」のインプット/戦略の全体像を捉えることを通じて活動のヴィジョン、ミッションがなぜ必要かを理解する、等）	山元 圭太

2019年 10月16日(水) 17時~20時②	活動基盤を磨く ～芸術文化事業の運営体制の課題とその改善策の深掘り～	<ul style="list-style-type: none"> 自己診断ワークとフィードバック（ボトルネック抽出と対策アクション案の策定、等） 	山元 圭太
2019年 10月30日(水) 17時~20時③	活動のためのファンディング力を磨く ～ファンディング課題実践①～	<ul style="list-style-type: none"> ファンディングの理念、概念や手法（なぜ・何が・どのように必要か） 財源・事業・組織が一体となった成長戦略づくり 財源の種類 既存・潜在的支援者の巻き込み方・共感の醸成 実例&失敗談と教訓・改善策等の共有、等 	伊藤 美歩
2019年 11月11日(月) 17時~20時④	活動のためのファンディング力を磨く ～ファンディング課題実践②～	<ul style="list-style-type: none"> 文化セクターにおけるファンディングの全体像を捉え、実践のあり方、工夫・発想の拡張を試みる。 財源の多様性や可能性を知る。 ファンディングのための言語化能力のブラッシュアップ、等 	若林 朋子
2019年 12月2日(月) 17時~20時⑤	芸術文化の必要性を考える ～芸術文化支援を鍵に、自立の在り方等を考える～	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜ、社会にとって芸術文化が必要か」という問いについて考える。 創造活動を取り巻く環境を総的に捉え、活動の価値を客観的に説明する力を磨く。 芸術文化支援の選択肢を知り、自立の在り方も探求する。 	片山 正夫
2019年 12月16日(月) 17時~20時⑥	活動の意義を伝える評価軸を磨く ～活動を振り返り、改善・変革していく術を磨く～	<ul style="list-style-type: none"> 評価の意義を理解する。 評価の全体像を捉え、手法や効果を活動の継続的発展に生かす。 活動の価値を評価し可視化、言語化する技術を磨く。 	源 由理子
2020年 1月28日(火) 17時~20時⑦	芸術と社会の関わり方を磨く ～社会とのつながりを捉え、「接続」を考える～	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化と社会の関わりを更新し続けていくために、そのありよう（独自性と普遍性）について考える。 「文化生態系」の視点をヒントに、自身がどのような生態系を開拓し「接続点」となり得るか探求する。 	大澤 寅雄 小川 智紀
2020年 2月25日(火) 16時~20時⑧	課題解決戦略レポートの最終発表会	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化活動における課題解決の具体的な実装方法を提案、相互に思考を共有する。 	若林 朋子 小川 智紀

3 応募資格

本事業の趣旨を理解し、研究意識を備えた受講意欲を有する方で、次の全てに該当すること。

- (1) 芸術文化領域における専門的知見を有し、企画制作、創作、研究、マネジメント、中間支援等について3年以上の活動経験があること。
- (2) 目的意識をもって主体的に考え、自らの活動の改善に向けて、課題解決策を立案し、具体的な取組を行う意思があること。

- (3) 自身の実践を通して、芸術文化環境の発展に貢献する意欲があること。
- (4) 各講座及び最終発表会に出席できること。（選考にあたっては全8回受講可能な方を優先する）
- (5) 課題レポート作成と提出が可能なこと。（後日に編集作業を経て、公開型の報告書に掲載する）
- (6) 講師及び他の受講生と積極的に交流や議論ができること。
- (7) 受講後も芸術文化の振興に資する活動に携わる意思があり、終了後3～5年後をめどにアーツカウンシル東京が行うアンケート調査に協力できること。

4 受講料・場所等

- (1) 受講料：無料
- (2) 場所：アーツカウンシル東京 会議室（千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8階）
- (3) 著作権：受講生が作成したレポート等成果物の著作権は公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京に帰属する。
- (4) その他：出席やレポート提出に対する報酬、交通費等の支給はない。

5 応募書類・方法等

(1) 応募書類

ア 平成31年度アーツアカデミー 受講申込書（別紙）

イ 履歴書（任意書式、A4、1枚程度。顔写真、氏名、住所、連絡先電話番号、Eメールアドレス、生年月日、学歴、職歴、免許・資格等の記載があること。顔写真添付が難しい場合はA4別紙に貼付の上、提出すること）

ウ 職務経歴書（任意書式、A4 1枚程度）

エ 志望動機（任意書式、400字程度）

オ レポート（任意書式、1,600字程度）

内容：自らの活動について、客観的な視点を踏まえながら、以下の①～⑥を盛り込んで記述すること。

① 活動概要、②マネジメント体制、③目的・目標、④現時点の成果（外的評価含む）、⑤現時点で感じている課題・問題意識、⑥課題解決のために自らが考えている糸口

カ 返信用封筒 定型封筒（長3）に切手82円を貼付し、住所、氏名、郵便番号を明記する。

※応募の際に受領した個人情報については、個人情報保護法に基づいて本選考に必要な範囲内で利用することとする。

※志望動機及びレポートは、受講の際に講座内で講師及び他の受講生と共有する機会がある旨を予め了承のこと。

(2) 応募方法

封筒に赤字で「アーツアカデミー受講生 応募」と明記の上、(1)の応募書類（ア～カ）を下記応募先に郵送すること。なお、応募書類は返却しない。

(3) 応募受付期間

令和元年8月5日（月）から同年8月30日（金）まで（消印有効）

なお、郵送による事故についてはアーツカウンシル東京では責任を負わない。

6 選考のプロセス及び方法

選考委員による書類審査（履歴書、職務経歴書、志望動機、及びレポート）

7 選考結果の通知・発表

選考結果は、採否にかかわらず令和元年9月6日（金）頃までに、Eメール及び郵送にて本人に通知する。なお、選考結果については、電話等による問合せには応じない。また、アーツカウンシル東京の事業紹介ページにて、受講生の一覧を掲載する予定を予め了承のこと。

8 お問い合わせ先及び応募先

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-28 九段ファーストプレイス8階
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室企画助成課
電話：03-6256-8431
Fax：03-6256-8828
E-mail：artsacademy@artscouncil-tokyo.jp
URL：www.artscouncil-tokyo.jp